

心理

中央児童相談所 判定課

平成30年度採用

職歴

H30～ 浜児童相談所南相馬相談室

R4～ 中央児童相談所 判定課

わたしを表すKEYWORD

#海外経験

開発途上国でのボランティアの経験があり、その中で感じた子どもたちのエネルギーや、現地の人に支えられた経験が、今の自分の糧になっている気がします。

#旅行好き

海外旅行が好きで学生時代から年に数回旅行に出かけていました。県職員になってからも、まとまった休暇を利用して国内外問わずに旅行に行くことでリフレッシュしています。

#サブカル

#他県出身

#二児の母

私は

子どもに関わることに

が好き!



よりよい成長と、家族関係のために

児童相談所は、原則18歳未満の子どもに関する相談や通告について、子どもやご家族の方から受け付けている機関です。すべての子どもが心身ともに健やかに育ち、その持てる力を最大限に発揮できるように家族等を援助し、ともに考え、問題を解決していく専門の相談機関です。

その中で心理判定員は子どもとの面接やプレイセラピー、各種心理検査を担当し、心理学的な立場から子どもの状態や特性、親子関係を見立てて援助方針を考えていきます。

担当の子どもと関係性を築き、子どもの視点に立って意向や気持ちに寄り添うことを第一に、面接に臨むようにしています。時には予定外の緊急対応が入ることもありますが、所内のチームで協力し合いながら日々取り組んでいます。



県職員を目指した理由

児童養護施設で勤務していた経験を活かし、より多くの子どもやご家庭の支援に携わりたいという思いから、福島県の心理判定員を志望しました。

とある一日のスケジュール

- 9:30 始業（育児短時間勤務のため）
担当保護児童の記録の確認
- 10:00 一時保護児童との面接
記録作成
- 12:00 昼休み
- 13:00 保護児童ケースの打ち合わせ
- 14:00 来所ケースへの対応
- 15:25 終業（育児短時間勤務のため）

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験



↑箱庭療法の様子

傷ついたり悩んできた経験から、将来のことや前向きな話が全くできなかつた子どもが、面接や心理療法を重ねていく中で少しずつ自分のことを話してくれたり、進路について向き合うようになれたことです。無事に高校生活を楽しんでいると知ったときには、とてもうれしく感じました。

自身の職種の魅力・面白いところ

児童相談所では、心理判定員以外にも、子どもの保護者や関係機関との調整を行う児童福祉司、一時保護所で預かった子どもの生活援助をし行動評価を行う一時保護所職員など、色々な職種の人が働いています。子どもの言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら、問題解決に向けてチームで一丸となって支援していくことに、この仕事の面白さがあると思っています。



↑大学院生への研修の様子

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

つらい目に遭ったお子さんと関わる中で、負の感情と対峙したり、目に見える成果が得られなかったりと、なかなか思い通りにならないことも多いですが、子どもの成長や可塑性を信じて取り組んでいます。児童相談所に相談に来てよかったと少しでも思ってもらえるように今後も業務に努めていきたいと思っています。